

ITOSUGI



いとすぎの丘



オープンキャンパス2013



体育祭

オープンキャンパス2013

Pick Up



7月20日(土)・8月24日(土)の2日間にわたり、今年もオープンキャンパスが開催されました。当日は模擬授業や看護体験、個別進学相談の他に、在学生が海外での実習や留学生活、語学研修の様子を高校生の皆さんにお伝えする報告会も行われ、多くの来場者で会場内が賑わいました。



いとすぎ祭

■ 学生生活

いとすぎ祭・体育祭
新入生合宿研修
イギリス語学研修
フローレンス・ナイチンゲール
記章授与式
クラブ紹介
RCT☆LINK

■ 大学の活動

後援会
オープンキャンパス2013
Academic Library
研究の窓

■ Information

学生生活

第10回いとすぎ祭



体育祭

いとすぎ祭

第10回いとすぎ祭を終えて

いとすぎ祭実行委員長 3年 稲垣 直子

今年はいとすぎ祭の第10回目となる節目の年でした。終わってみれば、多くの方から「大成功だったね」という評価をいただき、1年間のみんなの努力が報われ大変嬉しく思っています。委員長を務めてきた私自身も、日赤らしく、かつ来場者の方に楽しんでいただける大学祭であったのではないかと思います。

1年生のころから実行委員が楽しいだけではないことはわかっていましたが、「絶対に成功させたい」、「学祭を大きくしたい」という強い思いがあったので、この1年間の準備には1ミリの手抜きもせずに頑張ってきました。2年生も頑張って2つの企画を行い、お化け屋敷にメイク、ステージや模擬店への外部の参加など、本当に今年は盛りだくさんの学祭でした。その分もちろん準備も大変で、個人の負担が大きくなってしまって本当に大変だった委員もいたのではないかと思います。

また仲間との信頼や結束とよく言いますが、それ自体が簡単なことではないことも学び、多くの人に協力して動いてもらうことの難しさを痛感しました。委員長としての自分の役割がこれでよかったのか、もっと違った在り方があったのではないかと今でも思うことがあります。

まだまだ数え切れないほどの反省点はありますが、この1年間に私がさせてもらった経験と、いとすぎ祭委員のみんな、いつも相談に乗ってくださった教員や事務員の方々に、本当に感謝しています。ありがとうございました。

最後にこれからの実行委員に伝えたいことがあります。実行委員は、ただなただけで受身ではだめです。自分から積極的に動いて頑張ってください、楽しく充実した学祭になるので頑張ってください！！



体育祭

体育祭を終えて

体育祭実行委員長 3年 井上 万世

私たち体育祭委員は、今年5月に無事体育祭を終えることができました。例年よりも学生の参加人数は少なかったものの、1年生は全員が参加してくれ、大変盛大な体育祭となりました。各競技を通してチームの中で協力し、学年を越えた新たな絆を深め合うことができたのではないかと感じます。

将来私たちは看護師として年齢や職種の異なる仲間と協力し、ひとつのチームとして目標に向かっていきます。今回のこの体育祭がチームの大切さや仲間の素晴らしさを実感できる時間となればいいなと感じます。

体育祭を無事終えることができたのは、教職員の方々、食堂や購買の方々、バス会社の方々、他の実行委員の方々、そして参加して下さった方々の協力があったからです。本当にありがとうございました。そして、何よりも最後まで支えてくれた体育祭メンバーに感謝しています。素晴らしい時間をありがとうございました。この体育祭が、そしてここでの仲間が私の大切な宝物です。

来年も今年以上に盛大な体育祭が開催されますことを期待しています。



新入生合宿研修

新入生合宿研修を通して学んだ術

1年 山田 凌大

大学に入学し、そこまで日が経たないうちに新入生合宿研修を迎えました。それまで少数の女子と10人の男子とは関わりがありましたが、他の同級生とはほとんど話をしたことがありませんでした。

合宿研修初日、グループに分かれ活動することになりました。グループは私以外は全員女子でした。初めは、皆ぎこちなさが目立ちました。初めて話す人ばかりで、さらに自分以外は全員異性であったためにより

話しにくかったです。しかし、女子は見る見るうちにコミュニケーションをとっていき、ディスカッションにおいても意見が飛びかっていました。そこで、私はまず聞き役に回ろうと考えました。他のグループの男子は積極的に発言していたかもしれませんが、自分が見えぬことやグループの女子が積極的に発言していることからそう考えました。聞き役といってもずっと聞いているわけではなく、話を聞いているうちに疑問に思ったときなど発言していききました。ディスカッションで出た意見を模造紙に全員でまとめ、最高のグループ発表へとつなげました。

4年生が企画したレクリエーションでは、グループ発表であまり力になれなかった分積極的に行動しました。グループのメンバー一人一人が、自分にできることをやったことによりレクリエーションで優勝することができ、仲を深めることができました。

この新入生合宿研修を通し、自分自身を理解し、こういった立場に立てばよいのかを考え行動していくことで初対面の人とも距離を縮めることができる術を学びました。



グループワークのメンバーと

イギリス語学研修

「積極的に話すことの大切さ」を学んで

2年 吉野 杏菜

私は約3週間、イギリスのデボン州にあるプリマスという都市で語学研修に参加してきました。初めての海外ということもあり不安は大きかったものの、イギリスから日本に帰ってみれば、イギリスに戻りたいと思わせてくれるほど充実した3週間でした。

語学学校の授業では、文法やリスニングだけではなく、ディスカッションやゲームを取り入れていたので楽しく参加でき、他国から勉強に来ていたクラスメイ



英国赤十字社プリマス支部訪問

トとたくさんコミュニケーションを取ることが出来ました。自分の伝えたいことが上手く英語で言えず、悔しい思いをしたこともありましたが、まずは積極的に話してみる事が大切であると学びました。

また語学学校以外では、赤十字のプリマス支部や病院、プリマス大学などへ行き、お話を伺うことが出来ました。そこでは日本の活動や制度との違いに驚かされ、新しい発見がありました。このように、学校以外にも現地の人と話す機会がたくさんあり、未熟なりにも頑張って話そうと思い接していると、相手にもそれが伝わり、わかりやすくゆっくり話して下さったりと現地の人の優しさにも触れることが出来ました。

今回の研修は、自分にとって大きな経験になりました。将来、国内外どちらで働いても英語は重要なコミュニケーションの手段になります。これからは、英語に触れる機会を増やし、将来に繋げたいと思いました。

また、今回学んだ積極的に行動することの大切さを忘れずに学生生活を送りたいと思います。



語学研修を行ったMayflower College

フローレンス・ナイチンゲール記章

第44回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式に参加して

3年 竹之内 雅也

平成25年8月7日に行われた第44回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式に教員3名・生徒6名で参加させて頂きました。今回記章が授与された方は、日本からは久常節子先生（国際医療福祉大学大学院副大学院長）と金愛子先生（石巻赤十字病院副院長兼看護部長）の2名でした。久常先生は、阪神淡路大震災では当時はまだ知られていなかった被災者への「こころのケア」に関する支援の糸口となる施策を考え、金先生は、自身も東日本大震災の被災者でもあるにも関わら



ず、被災した人々の事を第一優先とし震災によって負傷した被災者や避難者が押し寄せ病院内が混乱状態となる中、職員の統率や指揮を行い職務を全うされました。本当に素晴らしい功績を残された方々であると感じました。

今回このような素晴らしい授与式に参加させて頂ける事になり、心のそこから嬉しく思うと同時に日々勉強している私達にとって、とても良い刺激になりました。

大きな事を語っていると思われるかもしれませんが、私も看護師に無事になる事が出来たら少しでも今回記章を受賞されたお二方のように様々な分野で貢献することが出来るような看護師になりたいと思います。



フローレンス・ナイチンゲール記章とは

赤十字国際会議の決議によって創設され、1920年（大正9年）ナイチンゲール女史の生誕100周年を記念して、第1回の記章が授与されました。その後も2年に1度、傷病者や（身体）障がい者、また紛争や災害の犠牲者に対して献身的な活動をし、創造的・先駆的な貢献を果たした世界中の看護師に授与されている看護師の世界最高の栄誉賞です。

クラブ紹介

世界とクロスする ナーシングチーム、始まる！

3年 田野口 順一

みなさん、こんにちは。学生国際協力団体セレンディピティのリーダー、田野口と申します。私たちのサークルは今年7月に、「看護学生としての専門分野を生かし、国内外の保健活動を通して子どもたちの健康増進に貢献すること」を目的として設立されました。セレンディピティとは、価値あるものを偶然発見する才能という意味です。国内外の活動の中で、それぞれが大切なものを見つけて成長していけるようにと願いを込めて名付けました。

さて、今回は国外の活動について少しだけご紹介したいと思います。私たちが住むここアジアでは、まだまだ衛生環境が悪い地域が沢山あり、そのために沢山の子どもたちが体調を崩している現状があります。そこで、セレンディピティではカンボジアの孤児院や小学校での健康診断・健康教育活動を通し、子どもたちが自発的・持続的に健康を高めていけるような支援を目指していきたいと考えています。また、カンボジアの文化を肌で体験し、生活様式や考え方の違いなど、



メンバーのみんなと共に

異文化理解を更に深めたいと考えています。セレンディピティには、本学1年生から4年生まで、さらに聖路加看護大学や海外の大学など、他大学のメンバーも所属しています。学年や大学、そして国を越えた、まさに世界とクロスする活動がここ、Red Cross Toyotaから始まります。まだまだ生まれたばかりのセレンディピティですが、このワクワクを胸に皆で一つとなって頑張っていきます。応援よろしくおねがいします！

RCT☆LINK

インド滞在を通じて感じたこと

2年 岩崎 令実

私は夏季休暇中にインドへ行ってきました。インド滞在の目的は日本とは異なる生活様式や文化を知ることと、ボランティア活動への参加でした。ボランティア先はマザーテレサ施設と孤児院です。1週間ほど参加したマザーテレサ施設では、掃除や洗濯から食事、着替え、トイレの介助などを行いました。基礎看護学Ⅰで学んだ内容ばかりです。自分が学んできたことが実際に使える喜びや新しいものを知る楽しさを感じ、毎日クタクタでしたが大変ながらも楽しく充実した日々を送ることができました。そして、滞在中は意識しなかったものの帰国して実感したことがあります。それ



多くの人が祈りを捧げに来るマザーテレサのお墓



ムガル帝国第5代皇帝が愛妃のために建設したお墓タージ・マハル

は日本という国がとても安全だということです。帰国後、今まで感じたことのない体の異変に気が付きました。神経はどこか緊張しているのに外界の雰囲気とのギャップを感じるのです。2~3日はなんとなく落ち着かない状態でした。私が過ごした街は、世界からボランティアが集まる都市でしたが、治安はよくありません。ホテルから一步出ることすらガイドさんに断られるほどでした。私がどれだけ安全な国にいるのか、そしてそのことがどれだけ幸せなことなのか実感したのです。このことが生活や文化の違い以上に、強く心身に残ったことです。外に目を向けてみるのが内に目を向けるきっかけとなることがあります。今回の経験を通し、自分と自分の国を見つめ直していきたいと改めて思いました。また、インドへ行きたいと思います。

NEXT RCT☆LINK

⇒ 1年生 奥野碧さん

後援会

平成25年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 鈴木 秀樹

今年度も後援会会長を勤めさせていただく鈴木です。どうぞよろしくお願いいたします。

平素は後援会活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。一昨年の大震災発災後の日本赤十字社の直接、間接にわたる支援活動につきましては、日本赤十字豊田看護大学に子供を学ばせている親として、大変誇りに思った次第です。「Shake the heart～ここをつなごう」のテーマの下に取り組んだ今年度の「いとすぎ祭」でも、日赤に学ぶ学生としての自覚と使命感を感じることができました。例年同様に後援会といたしまして、総会でご承認をいただき「いとすぎ祭」に対し運営資金援助を行いました。また、本年の開学10周年記念行事への援助の積み立ても行いました。

さて、私事ですが4年生の長女は、前期実習に明け暮れる毎日でした。実習初期のころは、緊張の連続だったようですが、9月の最後の統合実習の頃にはだいぶ慣れてきたようで、看護師になることへの覚悟もだいぶ出来てきたようです。2年生の次女も後期には、いよいよ基礎看護の実習となります。まだまだのんびり大学生活を楽しんでいるようで親として少し心配ではありますが、巷をにぎわしている困った若者たちの仲間



平成25年度後援会役員一同

入りだけはしてくれるなど願っています。「赤十字」や「看護」という名のもとで勉学をする者としての自覚をもって、常識で許されないこととか、法律を守るといった当たり前のことは、いちいち指摘されなくても判断できてほしいものです。

近年では、病院で看護師に求められるレベルの高い専門性に加えて、医療における国際的な協力体制の必要性など、看護師の位置づけは大きく変化しています。幅広い教養をもち人間としても尊敬される人材、さらに国際的な感覚を持った広い視野が、看護師にも求められてきています。こういった要望を身につけていくことは、厳しいものがありますが、理想の看護師を目指して不断の研鑽を続けてほしいと考えます。

後援会も学生の成長、そして大学の発展に貢献できるよう、これからも努力していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

オープンキャンパス2013

オープンキャンパスに参加して

4年 鳥山 騰真

4年前、「看護大学とはどんな所なのだろう」と緊張しながらオープンキャンパスに訪れたことを今でも覚えています。そして参加したオープンキャンパスでは、高い志のもと日々勉学に励む先輩方の姿、またその学生の気持ちに添えていこうとする教員や大学の熱意を深く感じたことが印象に残っています。あれから月日は流れ、今では看護師になりたいと思う高校生を迎える立場になったことに驚いています。

オープンキャンパスで、私は大学内の施設や学生生活を紹介していくキャンパスツアー係の担当になりました。ツアーでは、看護大学ではどのような勉強をしているか、4年間大学に来てよかったと思えたことを話し、学校内を案内しました。参加してくれた高校生は



学生個別相談コーナー

目を輝かせながら校内を見学し、ツアー終了後には「勉強をこれからも頑張っていきます」「看護師という仕事により興味が湧きました」と口にしてくれる参加者もあり、そのことを嬉しく思いました。

参加者の中から、優しい気持ちを持った立派な看護師が多く生まれることを先輩として楽しみにしていきたいです。



オープンキャンパス2013の開催について

広報・公開講座委員 高見精一郎

本年度のオープンキャンパスは7月20日・8月24日の2回行われ、のべ784人の高校生とご家族の皆様を迎えました。

学生や教職員の入試相談、看護や赤十字の学習体験ゾーンに加え、特に今年は学生たちの海外での学習や経験を知る報告会を複数、プログラムに入れました。医療英語が学べる模擬授業、自らが経験した様々な海外活動や海外留学を報告する学生の姿に会場となった大講義室は座席が足りないほどの盛況で、多くの方々が耳を傾けてくださいました。頂いた感想にも、『感動した!』『とても良い大学』『来てよかった』など好評を頂けたのではないかと思います。

高校生の皆さんが思い思いに会場内を回っていただき体験されたことや学生スタッフの話を通じ、本学を少しでも深く知っていただけたならこれ以上の喜びはありません。多数のご参加をいただいたことに深く感謝いたします。

Academic Library

叡智について

司書 中尾 明子

豪華な新書です。知の巨人たち6人（Jared Diamond, Norm Chomsky, Oliver Sacks, Marvin Minsky, Tom Leighton, and James D. Watson）へのインタビュー集でありながら、「叡智」という言葉を久しぶりに掘り起こし、そして「叡智」と呼ぶにふさわしいと、うなされます。

インタビュアーである吉成氏の経歴がアナウンサーを経てマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学大



吉成真由美インタビュー・編、知の逆転。
(NHK出版新書; 395).NHK出版, 2012.



日本赤十字豊田看護大学学術情報リポジトリ「HUMANITY」
<https://rctoyota.repo.nii.ac.jp/>

学院へ進んだ科学者である影響もあると思われますが、目次がシステムティックレビューのように整理され、電子ブックで出版されたなら、目次と本文の紐付けが愉しませてくれること請け合いです。また、巨人たちが若い人へ薦める本のリストも興味をそそります。

さて、本学では学術情報リポジトリ「HUMANITY」を公開をしました。リポジトリとは元来「貯蔵庫・収納庫」を意味します。学術論文等の教育研究成果をサーバに登録・蓄積して広く公開・発信するインターネット上の電子書庫です。ぜひ、本学の「知」にアクセスをしてみてください。

研究の窓

マタニティ・ヨーガ研究

母性看護学 教授 野口 眞弓

平成20年4月に日本赤十字広島看護大学から異動し、本学では6年目となります。学部では母性看護学を、大学院では研究・研究者コースと母性看護専門看護師コースを担当しております。

平成24年4月から科学研究費補助金の交付を受けて、「マタニティ・ヨーガの効果の検証とその最適化に関する研究」に本学の母性看護学領域の教員と名古屋第一赤十字病院の真野真紀子看護副部長とともに取り組んでおります。60分のマタニティ・ヨーガでは、体を柔らかくするポーズ、陣痛を乗り切る呼吸法、瞑想を



行い、その間に3回のリラックスをとります。調査でマタニティ・ヨーガ教室に出向いた際には、妊婦さんとともにマタニティ・ヨーガを行っています。5分程度のリラックスは本当に心地よく、寝入ってしまうほどです。

写真では、本学の母性看護学領域の教員と真野看護副部長とともに、ヨーガのポーズをとっています。真野看護副部長はマタニティ・ヨーガのインストラクターですが、本学の教員は体が硬いことが自慢です。妊婦ではない本学の教員は、マタニティ・ヨーガのリラックス効果を十分に体験しておりますが、妊婦を対象とした研究でそのことが明らかになること期待しております。

Information

平成26年度入学試験日程

試験の種別	出願期間	試 験 日	合格発表
日本赤十字社中部各県支部長 推薦入学試験	平成25年10月21日(月) ～11月1日(金) 必着	平成25年11月16日(土)	平成25年11月25日(月)
高等学校長推薦入学試験(公募制)	平成25年10月21日(月) ～11月6日(水) 必着		
社会人特別選抜入学試験			
一般入学試験	平成25年12月13日(金) ～平成26年1月24日(金) 必着	平成26年2月1日(土)	平成26年2月7日(金)
大学入試センター利用試験	平成26年1月6日(月) ～平成26年1月17日(金) 必着	本学での個別試験は 実施しません。	

※詳細は募集要項またはホームページをご覧ください。

後期公開講座

講座名	日時・担当領域	内容	人数
心を病む人に寄り添う介護の基本	平成26年2月15日(土) 10:00～12:00 精神看護学	こころを病む人の理解と関わり方の基本を学びます。	50名
子どもの体と情緒を育む遊びの実践	平成26年3月8日(土) 10:00～11:30 小児看護学	ビデオ鑑賞後、親子で楽しく遊びます。	20名 子ども対象年齢：3～6歳
生活習慣を見直そう！	平成26年3月13日(木) 10:00～12:00 成人看護学	本講座では、食生活や運動、休養など、健康づくりに欠かせない生活習慣から一つを取り上げていきます。今年のテーマは「食生活」！一緒に考えていきましょう。	30名

平成24年度 消費収支計算書

平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日

消費収入の部 (単位：円)			
科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金	906,320,000	906,070,000	250,000
手数料	28,340,000	25,016,820	3,323,180
寄付金	0	3,701,751	△ 3,701,751
補助金	124,672,000	103,726,760	20,945,240
国庫補助金	124,623,000	103,687,000	20,936,000
地方公共団体補助金	49,000	39,760	9,240
資産運用収入	15,153,000	12,966,456	2,186,544
事業収入	5,700,000	6,113,600	△ 413,600
雑収入	4,884,000	6,264,840	△ 1,380,840
内部取引	3,445,000	5,521,344	△ 2,076,344
帰属収入 合計	1,088,514,000	1,069,381,571	19,132,429
基本金 組入額	△ 54,804,000	△ 37,528,436	△ 17,275,564
消費収入の部合計	1,033,710,000	1,031,853,135	1,856,865

消費支出の部 (単位：円)			
科目	予算額	決算額	差異
人件費	604,669,000	571,053,086	33,615,914
教育研究経費	421,510,000	406,509,041	15,000,959
管理経費	42,505,000	38,574,232	3,930,768
資産処分差額	0	1,823,465	△ 1,823,465
内部取引	16,388,000	18,790,255	△ 2,402,255
予備費	0	0	0
消費支出の部	1,085,072,000	1,036,750,079	48,321,921
当年度消費支出超過額	△ 51,362,000	△ 4,896,944	
前年度繰越消費収入超過額	387,437,000	811,890,226	
翌年度繰越消費収入超過額	336,075,000	806,993,282	

平成24年度の財務状況は、学務システム、電算室サーバー群更新等により51,362千円の支出超過予算でしたが、経費節減努力により安価で更新することができたこと、また人件費の減により支出超過額を46,465千円圧縮することができ、4,897千円の支出超過となりました。

編集後記

日本中が待っていた2020年夏のオリンピック・パラリンピック開催地が、「東京」に決まりました。これから日本は、オリンピック開催に向け躍動していきます。本学も開学10周年を迎え、さらに元気になっていきます。

今後も心をこめて「いとすぎの丘」を作成してまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

いとすぎの丘 Vol.18

発行日／2013年11月

編集・発行／日本赤十字豊田看護大学

広報・公開講座委員会、企画・地域交流課



〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <http://www.rctoyota.ac.jp/>